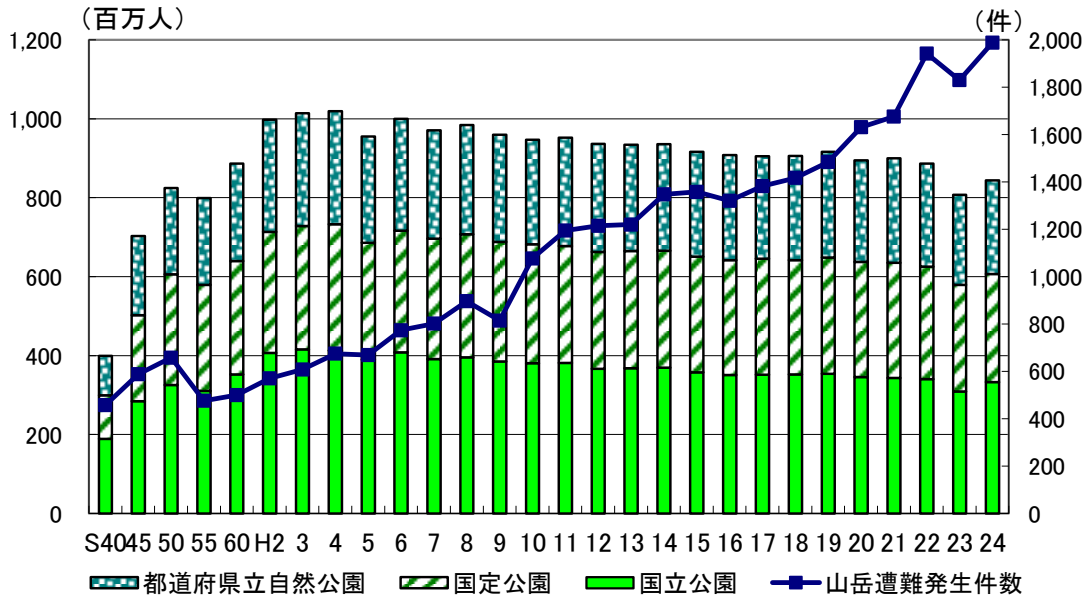


自然公園利用者数と山岳遭難発生件数(全国)の推移



「山岳遭難発生件数」は「山岳遭難の概況(警察庁)」より

解 説

【概要】

環境省の「自然公園等利用者数調」によると、全国の自然公園利用者数は平成4年をピークに近年減少傾向にある。

一方、警察庁の「警察白書」及び「山岳遭難の概況」によると、全国の山岳遭難発生件数は近年の中高齢層の登山ブームと重なって増加傾向にあり、平成24年(1,988件)は、過去最も高い数字を示しており、10年前の平成15年(1,358件)と比べて約46%増加している。

○自然公園利用者数

1月1日から12月31日までの自然公園(国立公園、国定公園、都道府県立自然公園)の利用者数。

○キャンプ場

都道府県、市区町村、団体等がキャンプ場として指定しているもの。

○水浴場

年間利用者がおおむね1万人以上の海水浴場、及び5千人以上の湖沼・河川の水浴場。

注1：石川県の数値は、仮の結果を示す。

○観光農園

農業を営む者が、観光客等の第三者にほ場において自ら生産した農産物の収穫等の一部農作業を体験又はほ場を觀賞させて代金を得ている事業をいう。

資料出所	調査期日	調査周期
*1 「自然公園等利用者数調」 環境省	平成24年	毎年
*2 「社会教育調査」 文部科学省	平成23年10月1日	3年
*3 環境省資料	平成26年4月～6月	毎年
*4 「2010年世界農林業センサス」 農林水産省	平成22年2月1日	5年